

## 神奈川県立川崎図書館の KSP(かながわサイエンスパーク)への移転について

### 1 川崎図書館の概要

#### (1) 沿革

- 昭和 33 年 11 月設置。
- 昭和 34 年 館内閲覧業務を開始。商工資料室開室。特許公報類の閲覧業務開始。
- 昭和 37 年 「京浜地区資料室運営研究会」設置
- 昭和 38 年 「神奈川県資料室研究会」発足（京浜地区資料室運営研究会は、発展的に解消）
- 昭和 39 年 工場巡回文庫を設置
- 昭和 46 年 特許庁により公開公報閲覧所に指定
- 昭和 58 年 科学技術文献相互利用開始（県の試験研究機関等への巡回）
- 平成 8 年 特許庁より「知的所有権センター支部」に認定（特許庁との専用回線により検索端末を設ける）
- 平成 10 年 「科学と産業の情報ライブラリー」としてリニューアル → 地域図書館としての機能は廃止（一般図書・児童書の提供を取り止める）
- 平成 13 年 「川崎公害裁判訴訟記録」の寄贈。（社）日本化学会から洋雑誌の寄贈。
- 平成 16 年 科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー開始
- 平成 18 年 ビジネス支援室を開室

#### (2) 施設の状況

- 建物面積：3550.38 m<sup>2</sup>（本館部分：2856.13 m<sup>2</sup> 書庫部分：694.25 m<sup>2</sup>）
- デポジット・ライブラリー（野庭）：1491.81 m<sup>2</sup>
- （都市公園法に基づく公園施設設置許可（使用料：免除））

### 2 KSP 移転の背景

#### (1) 富士見周辺地区整備基本計画（平成 20 年 3 月）～ 同実施計画（平成 23 年 3 月）

- ・ 富士見周辺地区（川崎区）には、富士見公園を中心にさまざまな市民利用施設が集積し、スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点となっている。
  - 公園本来の緑地や広場が少なく、都心における総合公園としての機能回復の必要性。
  - 市民利用施設等公共施設は、老朽化や耐震面などで課題のある施設が多数あり、施設の更新・再整備が必要。
- ・ 川崎図書館は、「市内での機能存続に向け、神奈川県と協議を行いながら、今後、具体的な検討を進める」とされ、跡地は平成 30 年度から市民館・区役所として整備する計画（実施計画）

#### (2) 神奈川県緊急財政対策（平成 24 年～26 年）

- ・ 平成 25 年度、26 年度で約 1,600 億円の財源不足の見込み。
- ・ 重点的な取り組みとして、県有施設の見直し、県単独補助金・負担金の見直し、人件費の抑制などを実施。

- ・ 県有施設の見直しの方向性は、移転、規模縮小、集約化、廃止、委譲、委託、指定管理者など。  
→ 川崎図書館は県立図書館とともに、「機能の純化・集約化を含めた検討」の扱い。具体的には、  
閲覧・貸出機能の廃止など
- ・ 3 ヶ年の取り組みで、1,495 億円の財源確保、税収増により財源不足を解消。

### (3) 検討の経過

- ・ 平成 25 年 2 月 川崎市内に残す方向で検討
- ・ 平成 25 年 3 月 京浜臨海部ライフインノベーション特区内の産業情報センターとの統合を検討
- ・ 平成 25 年 12 月 KSP への移転を表明 (知事)
- ・ 平成 26 年 2 月 平成 29 年度中に機能を特化し、KSP に移転 (緊急財政対策の取組結果)

## 3 移転の概要(参考:平成 29 年第 1 回定例会常任委員会報告資料)

### (1) 移転先の概要

所在地: 川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号 KSP 内

面積及び主な用途: 西棟 2 F (約 900 m<sup>2</sup>) 開架・閲覧スペース

R&D 棟 2 F (1,180 m<sup>2</sup>) 書庫・事務室スペース

### (2) 目指すべき図書館像

「ものづくり技術を支える機能」に特化した専門図書館として、特色ある図書館を目指す。

### (3) 移転後の機能・事業

- ・ 製造業等の「ものづくり技術」の高度化や技術開発をバックアップ  
→ 電子ジャーナル、データベース等のデジタル情報の提供
- ・ 知的財産に関する支援、(独)神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) との連携・ワンストップ化  
→ KISTEC と連携した企業支援・知的財産に関する相談
- ・ ものづくりに役立つ先進的情報の発信  
→ セミナー、各種公開講座等

### (4) 蔵書

43 万冊の蔵書 (雑誌は 2cm 幅で 1 冊と換算) のうち、30 万冊を KSP で、その他約 12 万冊を外部書庫で保管。

- ・ 30 万冊 (すべての雑誌、ものづくりに関連する図書、特許・規格、社史、川崎公害裁判訴訟記録など)
- ・ 約 12 万冊 (外部書庫: 図書)
- ・ 約 1 万冊 (郷土資料等は県立図書館へ。やさしい科学コーナー、ビジネス書などは川崎市立図書館での活用を検討)

### (5) 今後のスケジュール

平成 29 年 10 月～11 月 部分開館 (一部の閲覧室の利用停止、貸出など一部サービスの停止)

平成 29 年 12 月～平成 30 年 5 月 完全休館

平成 30 年 5 月中旬～ 開館予定